



第 26 回定時株主総会 質疑応答集

開催日時：2024年6月26日（水曜日）午前12時

場 所：場所の定めのない株主総会として開催

(1) 事前質問

1.

Q (株主)	海外展開の展望を教えてください。
A (議長)	当社は従前より海外展開にトライをしてきた経緯がございます。現時点では計測技術による海外展開を考えており、体型測定の技術をパッケージ化したボディーマネジメントサービス「ZOZOFIT」を北米で展開しております。我々が保有している計測技術については海外の企業様からも関心が寄せられており、技術ライセンスの提供など計測技術を商売としながら海外へ展開していくという方針です。

2.

Q (株主)	配当通知書の郵送を電子化することは可能か。
A (議長)	配当通知書の電子化につきましては、恐れ入りますが、制度上、現在対応することができない状況となっております。今後制度の改正等ございましたら、いただいたご意見を踏まえ、検討させていただきます。

3.

Q (株主)	株主総会案内の郵送物の紙質について、上質な紙の封筒を例年使用しているが、わざわざ使用する意味はあるのか。
A (議長)	当社は「世界中をカッコよく、世界中に笑顔を」という企業理念の下、商品を梱包する箱にもこだわるなど、ステークホルダー様に提供するあらゆる物にカッコよさを追求しているのご理解いただければと思います。郵送物についても同様の発想で、皆様に少しでも当社のこだわりをご理解いただきたいという思いで差し上げている次第でございます。そういったところにコストを使うのはどうなのかという意見についても、ごもっともなご意見だと思っておりますので、貴重なご意見として承りたく存じます。

4.

Q (株主)	バーチャルオンリー株主総会の不正やなりすましに関する対応について教えてください。
A (議長)	なりすましにつきましては、株主様ごとにランダムで個別のログインパスワードを設定するなどによりセキュリティの強化を行っております。株主様の議決権行使については、株主名簿管理人である三井住友信託銀行にて厳格に管理されております。当社単独で議決権行使結果の改ざんなどの不正ができないようになっておりますので、ご理解いただければと思います。

5.

Q (株主)	取締役会の構成と女性役員の適格性について教えて欲しい。
A (議長)	取締役会については、知識・経験・能力を全体としてバランス良く備え、性別・職歴・年齢の面を含む多様性を確保することが重要という考えに基づき構成するよう努めております。また、本総会で候補者となっている女性役員や、在任中の監査等委員である女性取締役を含め、当社の取締役ににつきましては、性別に関わらず、企業経営やテクノロジー、コーポレートガバナンスなど、各専門領域での幅広い経験や知識を有する方を提案させていただいております。いずれも経営手腕や経験を評価して取締役として最適な人材をご提案申し上げており、どの方も忠実に職務を遂行していただけるものと考えております。

6.

Q (株主)	バーチャルオンリー株主総会の実施の是非について教えて欲しい。
A (議長)	バーチャルオンリー株主総会は、会場設営のコスト削減や、遠隔地の株主の皆様も参加が可能というメリットがあると考えております。今回も株主様とより多くの対話ができますよう、事前質問の入力欄の場所を分かりやすくしたり、質疑応答では、株主様に質問をご入力いただくための時間を多く設けるなど、運用の改善を行っております。今後もバーチャルオンリー株主総会を実施する際は、株主総会が株主様とのより充実した対話の機会となるよう工夫を続けていきたいと考えております。

(2) 当日質問

1.

Q (株主)	物流の2024年問題について、ZOZOへの影響や対策はあるのか。
A (議長)	物流の2024年問題は、我々にも影響を及ぼしている状況でございます。具体的には物流関連コストの増加がございしますが、そちらに関しましては、倉庫や倉庫以外も含めてコスト削減を図ると共に、2024年4月1日より送料の値上げを実施しております。

2.

Q (株主)	アパレル業の今後のマーケット展開について教えて欲しい。品質は年々長持ちしているが、購入行動に変化が起きるのか。
A (議長)	ご指摘のとおり、アパレルの品質は上がってきている現状でございます。一方で、サステナビリティの流れも日本のアパレル業界で非常に進んでおり、結果として、古着の活用に関するマーケットが広がっていくと考えております。我々のサービスであるZOZOUSSEDの売上も順調であり、買取サービスに関しても旺盛な形で需要を捉えている状況でございます。品質が向上し、それをまた違う誰かが着るといった形で、アパレルマーケットが循環していく未来を想像しており、当社も推進したいと考えております。

3.

Q (株主)	LINEヤフーコマースとの連携について、それがZOZOTOWN自体のECブランドの単体認知と相反する結果になる可能性はないのか。
A (議長)	ZOZOTOWNがYahoo!ショッピングに出店する時に、そのようなお話は社内で色々と検討したうえでの結論であり、現在の状況となっております。現時点での結論から申し上げますと、ZOZOTOWN本体での認知の限界があったと考えております。具体的には、40代以上の男性のマーケットに関して、Yahoo!ショッピングの方が非常に多くのお客様を抱えており、そこからZOZOTOWNを知っていただくことが実現できております。年齢や男女といったセグメントごとに捉えるお客様が異なるため、2つのサイトに出ることによって、両面からお客様を獲得できております。

4.

Q (株主)	ハイブリッド出席型にしない理由を教えてください。
A (議長)	より多くの株主様とのコミュニケーション機会の提供や、コストの最適化を考え、バーチャルオンリー株主総会の開催に至りました。まだ始めて2年目のものになりますので、修正が必要であると思っております。これを絶対に続けていくといった話ではなく、皆様のご意見を捉えながら、最適なものを探していきたいと考えております。引き続きご意見をお寄せいただければと思います。

5.

Q (株主)	取締役と監査等委員の任期を教えてください。監査等委員の選任はいつ議案になるのか。簡単に説明書があると親切だと思う。
A (議長)	取締役の任期は1年でございます。監査等委員の任期は2年であり、来年で任期満了を迎えます。ご指摘いただいたものを参考にさせていただきながら、来期の案内等を考えていきたいと思っております。

6.

Q (株主)	若い世代は見た目や素材のカッコよさだけでなく、環境や持続性も重視していると考えます。事業における環境、温暖化対策の進捗、今後の展望について教えてください。
A (議長)	若い世代だけではなく、その他の世代についてもサステナビリティに関する関心は非常に高まっている状況であると認識しております。当社もサステナビリティステートメント及びその重点領域を定めており、本取り組みについて組織立てて行っております。詳しくはホームページ等をご覧ください。我々は小売、ファッションのインフラとして非常に重要な位置におり、我々の売り方によって、社会や環境に与える影響が大きく変わってくると自認しております。そういった自覚を持ったうえで、各ブランドさんの協力をもとに、同じ方向に向かって動いている最中でございます。

7.

Q (株主)	最近、親会社のセキュリティ上の懸念について騒がれているが、貴社への影響や関係について教えて欲しい。
A (議長)	当社への影響については、ほぼございません。当社のセキュリティについてはそれを司る専門組織もあり、外部の認定も受けている状況でございます。このような事象が親会社で発生している以上、我々も気を引き締め、より一層、セキュリティに関しての確度を高めるべく、日々努力をしている最中でございます。

8.

Q (株主)	コスメの取り扱いはどのくらいあるのか。
A (議長)	現在、750ブランド以上の取り扱いがございます。昨年度の商品取扱高は113億円となっており、ZOZOTOWNでアパレルを買っていただいているお客様の4分の1は、コスメも買っていただいております。引き続き、アパレルの次の柱として、コスメに注力していきたいと考えております。

以 上